

# 食道・胃・十二指腸内視鏡検査の説明と同意書

様

## 1. 検査目的：

上部消化管内視鏡（いわゆる胃カメラ）を用いて食道・胃・十二指腸の病気（炎症、潰瘍、ポリープ、癌など）を診断し適切な治療方針を立てることです。

## 2. 検査方法：

- 1) 内視鏡を口から挿入して食道・胃・十二指腸を観察します。
- 2) 必要な場合には病変部より小さな組織を採取（生検）して、顕微鏡で観察し良性か悪性かなどを病理診断します。（病理検査の結果は1週間から10日ほどかかります）
- 3) 検査時間は通常15分前後ですが、もう少しかかる場合もあります。

## 3. 検査前日：

20時以降は食事を食べずに早めに就寝して下さい。

## 4. 検査当日：

- 1) 昨夜に引き続き検査が終わるまでは食事をとれません。
- 2) 検査予定時間の1時間前までは水分（お茶、水、スポーツ飲料）は飲んでかまいません。ジュース、牛乳はおやめ下さい。
- 3) 常用薬は指示通りにして下さい。
- 4) 検査後の食事については指示がありますが1時間後にうがいをしむせこみがなければ普通食を食べて頂いてかまいません。組織を採取（生検）された方は、検査後2時間くらい空けてからお粥や素うどんなど消化の良いものを食べて下さい。（詳細は検査後に説明いたします。）
- 5) 当日のアルコールは控えて下さい。
- 6) 検査中、鎮静剤を使用した場合は、ご自分で自動車、バイク、自転車などを運転し来院は控えて下さい。帰宅後も当日の運転は控えて下さい。
- 7) 検査内容によっては順番が前後することや緊急検査のため予約時間どおりに検査が進まない場合があります。このため待ち時間が発生することもございますが御承知下さい。

## 5. 注意点：

- 1) 食事、薬などに対するアレルギー体質のある方は予めお申し出下さい。
- 2) 日本全国集計によりますと上部消化管内視鏡検査による偶発症は咽頭麻酔によるアレルギー性ショックや鎮静剤による呼吸抑制、内視鏡挿入や生検による出血、裂創、穿孔（食道・胃・十二指腸などに穴があくこと）などです。万一これら偶発症が生じた場合は外科的手術を含めた最善の処置を行います。
- 3) 生検やピロリ迅速検査を施行された場合は、施行部位から持続性出血の可能性があります。止血を確認し検査を終了しますが再度出血を呈した場合は胃内であり判断困難です。出血を示唆する所見として後日黒色便や血便の出現、吐血をきたすことが報告されています。万一そのようなことがあれば直ぐにご連絡下さい。特に抗凝固剤、抗血小板剤を服用している場合は危険性が増します。当

院では日本消化器内視鏡学会の抗血栓療法患者様への対応に準じて対応していますが絶対的なものではないことを御承知下さい。

- 4) 検査の際色素を散布しより詳しく観察する場合があります。使用した場合、便、尿がやや青みがかかる事がありますが御心配ありません。自然に元に戻ります。

20 年 月 日

院長 三村 純

私は上記の内容について十分な説明を受け了解しましたので検査実施に同意致します。

20 年 月 日

みむら内科クリニック 殿

患者氏名 \_\_\_\_\_

保護者または

代理人氏名 \_\_\_\_\_

(患者との続柄： )

電話番号：078-784-6011